

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
マエジマ シンジ 前嶋 信次	男	1903 1983	八代町	笛吹市	『山梨百科事典』	文学	文学博士 慶応大学名誉教授 東洋史学・イスラム関係、東西アジア史の権威 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) 「アラビアン・ナイト(千夜一夜物語)」原典の翻訳者 (『山梨百科事典』)	『西アジア史』(山川出版社、1958) 『アラビアン・ナイト1～12』(平凡社、1966～1983) 『アラビア学への途わが人生のシルクロード』(NHKブックス、1982) 『アラビアに魅せられた人びと』(中央公論社、1993) 『千夜一夜物語と中東文化』(平凡社、2000)『華麗島 台湾からの眺望』(平凡社、2000) 『イスラムとヨーロッパ』(平凡社、2000)ほか	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p858) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p230～231) 『東八メモリーズこんなひとがいた。』(東八代広域行政事務組合、2002、p235～246) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、1992、p207)	2022/10/13	石和
マエダ アキラ 前田 晃	男	1879 1961	山梨市	山梨市	『山梨百科事典』	文学	作家、翻訳家。 徳永寿美子の夫。 博物館の「文章世界」編集などを通じて自然主義文学運動に尽くす。 ゴンクール、キーランド、モーパッサンなど翻訳。 1959年山梨市万力林の笛吹川岬に文学碑建立。 1987年から山人会により前田晃文化賞設置。 (『山梨百科事典』)	『手紙講座第7巻』(平凡社、1935、p1～25、p60) 『手紙講座第8巻』(平凡社、1935、p45～53) 『少年国史物語第5巻』(早稲田大学出版部、1937) 『現代語訳国文学全集第13巻』(訳、非凡社、1938) 『鯛と黒鯛』(山人会、1959) 『クオレ上・下』(訳、岩波書店、上1976、下1977)	『郷土史にかがやく人々集合編Ⅱ』(青少年のための山梨県民会議、1980、p391～405) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p858) 『山梨の作家1』(山梨ふるさと文庫、1994、p91～101) 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、2001、p77～81) 『山梨県人物・人材情報リスト2004』(日外アソシエーツ、2003、p354)ほか	2009/1/22	山梨

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
マエダ ケイスケ 前田 啓介	男	1979 	御坂町	笛吹市	「レミオロメン公式サイト」	芸術・スポーツ 産業	2000年に結成したバンド、「レミオロメン」のベース・コーラス。 2003年、1stMiniAlbum『フェスタ』でインディーズデビュー。レコード店のインディーズチャートで上位をマークする。 同年2ndSingle『電話』でメジャーデビュー。2005年にリリースされた8thSingle『粉雪』が大ヒット。 2006年8月、山梨県日本航空学園(甲斐市)にて史上初の滑走路ライブを開催し、3万人を動員。 2012年2月活動休止。 (レミオロメン公式サイト) 笛吹オリブオイル前田屋代表取締役。(「笛吹オリブオイル前田屋」ホームページ) 2012年オリブの本格的な栽培を開始。世界最大級のオリブオイルのコンテスト「オリブジャパン2020」で、「笛吹オリブオイル前田屋」が製造した「コロネイキ」が県内初、銀賞を獲得。(「山梨日日新聞」)2021年も「ブラックラベルブランド」が銀賞を獲得。(「山梨日日新聞」)2022年には「ミッション」が金賞、「コロネイキ」が銀賞を獲得。(「笛吹オリブオイル前田屋」HP)	Single 「粉雪」 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGU MO2005) 「茜空」 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGU MO2007) 「夢の蕾」 (OORONGRECORDS2009)ほか Album 「HORIZON」 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGU MO2006) 「風のクロマ」 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGU MO2008) 「レミオベスト」 (OORONGRECORDS2009)ほか	「レミオロメン公式サイト」 http://www.remioromen.jp/ (2022.10.8確認) 『テレビ・タレント人名事典』第6版(日外アソシエーツ、2004、p1032) 「H」(「ロッキング・オン」2006年9月号、p12～29) 『レミオロメン物語』(本郷陽二著、汐文社、2007) 「笛吹オリブオイル前田屋」ホームページ https://maedaya-olive.com/ (2022.10.4確認) 「山梨日日新聞」(2016.8.27、27面、顔写真あり、2020.7.11、7面、2022.1.1、64—65面)	2022/10/8	御坂
マエダ コウセイ 前田 康成	男	1950 	富士吉田市	富士吉田市	『21世紀-山梨の100人』	芸術・スポーツ	アニメーション演出家。 1969年虫プロダクション入社、「まんが日本昔ばなし」をはじめ、学校の教育アニメや博物館の解説ビデオなど多数の作品を生んでいる。 (『ふじごこふるさとむかしばなし第一集～第三集』)	『ふじごこふるさとむかしばなし第一集～第三集』(富士五湖広域行政事務組合、1994～1996)	『21世紀-山梨の100人』(山梨新報社、2002年、p36)	2012/8/16	富士河口湖
マカベ シズオ 真壁 静夫	男	1942 	韮崎市	韮崎市	『山梨県人物人材情報リスト2000』 『新・学社融合の実践』	社会科学	韮崎市教育委員会社会教育主事となり15年間社会教育を担当。以後、生涯学習推進に取り組む。 (『山梨県人物人材情報リスト2000』) 全国生涯学習まちづくり協会会員、まちづくりコーディネーター、日本生涯教育学会会員等で活動。 (『新・学社融合の実践』)	『韮崎の生涯学習心の3・3方式』(第一法規、1995) 『人生心の3・3方式』(近代文芸社、1995) 『新・学社融合の実践』(新風舎、2003) 『かかしの詩心に魅る写真集』(文芸社、2022)	『山梨県人物人材情報リスト2000』(日外アソシエーツ、2000、p347) 山梨日日新聞2022年9月15日(写真あり)	2022/11/30	韮崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館	
マキ ヒロシ 牧 宏	男	1927 2003	山梨市	山梨市	『山梨県人物・人材情報リスト2004』 『笛吹川ほとり』	文学	小説家。 本名中村宏通。 同人誌「劔」代表、山梨県芸術文化協会副会長、山梨同人誌懇談会座長、やまなし県民文化祭実行委員を歴任。 (『山梨県人物・人材情報リスト2004』『笛吹川ほとり』)	『どん百姓で』(山梨日日新聞社、1975) 『おれは縄者』(研文学会、1987) 『鳥貝のころ』(甲陽書房、1993) 『笛吹川ほとり』(山梨日日新聞社、2003)	『山梨県人物・人材情報リスト2004』 (日外アソシエーツ、2003、p356)	2009/1/22	山梨	
マキノ トミタロウ 牧野 富太郎	男	1862 1957	高知県	高知県	『牧野富太郎』(日本図書センター、1997年)	自然科学・医学	植物分類学者。自著に掲載されている膨大な植物群はすべて自らが手書きで彩色した。 明治20年「植物学雑誌」の創刊、明治45年東京帝国大学理学部講師。昭和10年6月、山梨県西湖附近に採集に赴いた。昭和20年5月、山梨県北巨摩郡穂坂村に疎開した。 (『牧野富太郎』)	『牧野新日本植物図鑑』(北隆館、1968) 『牧野富太郎牧野富太郎自叙伝』(日本図書センター、1997) 『我が思ひ出牧野富太郎<遺稿>』(北隆館、2022)ほか	『牧野富太郎』牧野富太郎 // 著(日本図書センター、1997) 『牧野富太郎の歌年譜』澁川葵人 // 著(牧野富太郎研究所、2013) 『牧野富太郎日本植物学の父』清水洋美 // 文(汐文社、2020) 『牧野富太郎植物の神様といわれた男』横山充男 // 著(くもん出版、2022)ほか	2022/11/30	葦崎	
マシモ ハンスウ 真下 晩菘	男	1799 1875	中萩原村	甲州市	『山梨百科事典』	歴史・地理	1866年陸軍奉行並支配 (『山梨百科事典』) 維新後「融貫塾」開設、政治結社「融貫社」の母胎となる。 (『評伝晩菘真下専之丞』) 樋口一葉の父則義(幼名:大吉)の援助人(『わが晩菘道遥』)	『わが晩菘道遥』(町田ジャーナル社、1993) 『評伝晩菘真下専之丞』(荻原留則、1991) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p864)		2012/8/21	塩山	
マチダ センショウ 町田 是正	男	1930 2021	浜松市	浜松市	『日蓮聖人にみる宗教思想』	哲学・宗教	5歳で身延山の坊に入る。 1953年、立正大学文学部史学科卒業後、身延山短大、久遠寺に勤める。 1979年、西ドイツの修道院で修道生活を体験。 身延山大学教授・理事を務め、身延山を主とした歴史を研究する。 身延町社会福祉協議会会長を務める。 (『日蓮聖人にみる宗教思想』)	『身延山秘話外史』(延寿坊、1990) 『日蓮聖人にみる宗教思想』(宝文館出版、1993) 「日蓮聖人の時間論」(『林是幹教授古希記念論文集』収録、身延山短期大学学会、1980)	『身延山秘話外史』(奥付) 『日蓮聖人にみる宗教思想』(奥付) 『山梨日日新聞』 (1990.11.82面、1992.11.173面、1995.9.2322面、1997.2.2225面、2000.1.1217面、2004.11.817面他)		2022.11.30	身延

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
マツガミ イッペイ 松上 一平	男	1985 	榑形町	南アルプス市	『山梨日日新聞』	芸術・スポーツ	バイオリン職人 「シモーネ・フェルナンド・サッコーニ賞」受賞 (『山梨日日新聞』)		『山梨日日新聞』(2012.10.30、23面) 『南アルプスLifeあしたの夢に』(南アルプス市、2013、p24~25)	2016/11/1	榑形
マツキ テルシゲ 松木 輝殷	男	1843 1911	福居村	身延町	『山梨百科事典』 『山梨県人物人材情報リスト2015』	技術 芸術・スポーツ	下山大工の一門に生まれ、堂宮大工の技術を父・松木運四郎から学ぶ。独立直前に明治維新を迎え、それを機に擬洋風建築を修める。1875年日川学校建築後、睦沢学校、勝沼学校・祝学校・韭崎学校等10校に及ぶ藤村式学校建築の秀作を残した。睦沢学校は藤村記念館として、国指定重要文化財。 (『山梨百科事典』)	『松木家資料』(勝沼、松木家所蔵)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p869) 『山梨県史文化財編』(山梨県、1999、p9~)『県史だより』(第29号、2005) 『山梨の洋風建築』(甲陽書房、1977、p46ほか) 『幻の学校をたずねて』(早稲田出版、2004、p153) 『山梨県人物人材情報リスト2015』(日外アソシエーツ、2014、P378) 『下山大工史資料』(加藤為夫、2004) 『都留の近代建築』(ミュージアム都留企画展、2016) 『甲斐路』(第26号、1975、p95) 『サライ』(1998.1.1、200号、p52) 『山梨日日新聞』(2004.5.3、19面、2004.6.1、31面) 『読売新聞』(2004.9.12、山梨版「下山大工実態示す資料続々」)他	2022/11/30	身延
マツザワ ハジメ 松沢 一	男	1896 1961	春日居村	笛吹市	『春日居町誌』 『山梨百科事典』	社会科学	政治家。 大正・昭和時代に農民開放運動で活躍。(『春日居町誌閉町記念編』)早くから農民運動に参加し、1930年日本農民組山梨県連合会結成のとき青年部理事となった。以後、会長平野力三とともに運動を推進したが、やがて日本国家社会党に、さらに皇道会へ転じた。春日居村会議員を経て1939年に県会議員に当選した。1945年12月、日本社会党山梨県連合会に参加し、翌年の第22回衆議院議員総選挙に当選。翌年の総選挙にも再選されたが、社会党県連の分裂によって社会革新党県連を結成。1951年に追放解除の平野を迎えて社会民主党県連に改組したが、党勢は振るわなかった。 (『山梨百科事典』、『春日居町誌』)		『春日居町誌』(春日居町、1988、p1373~1379) 『春日居町誌閉町記念編』(笛吹市役所春日居支所、2005、p180) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p870)	2022/11/3	春日居

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
マツダ ユリコ 松田 百合子	女	1943 	兵庫県	兵庫県	『現代日本人名録2002』 『陶Vol. 34』	芸術・ス ポーツ	陶芸家・1969年忍野村に築窯 ファエンツァ国際陶芸展金賞 日本陶芸展、八木一夫賞展入選 (『現代日本人名録2002』)		『現代日本人名録2002-2』(日外ア ソシエーツ、2002、p616)『陶Vol. 34』(京都書院、1992)『別冊芸術 『陶芸家150人』(阿部出版、2020、 https://yuriko- matsuda.com/archives/684)https:// /yuriko-matsuda.com/(2022.7.31現 在)	2022/7/31	おしの
マツノ シホ 松野 志保	女	1973 	甲西町	南アルプス市	『山梨県人物・人材情報リスト 2011』 『山梨日日新聞』	文学	歌人高校在学中より短歌を始め雑 誌に投稿。大学3年で月光の会に 入会、2003年より同人誌「Es」に参 加。(『山梨県人物・人材情報リスト 2011』)	『モイラの裔』(洋々社、2002) 『TooYoungToDie』(風媒社、2007) 『現在短歌最前線新響十人』(北溟 社、2007)	『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p351) 『山梨日日新聞』(2002.12.8、10面、 2007.2.16、11面、5.29、9面、いづれ も顔写真あり)	2020/10/28	甲西
ミウラ トモカス 三浦 友和	男	1952 	塩山市	甲州市	『被写体』	芸術・ス ポーツ	俳優 (『被写体』)	『被写体』(マガジン・ハウス、1999) 『相性』(小学館、2011)	『被写体』(マガジン・ハウス、1999、 p237)『家の履歴書』(キネマ旬報 社、2011、p119)	2012/8/21	塩山
ミカミ イサオ 三神 勲	男	1907 1997	甲府市	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト 2021』	文学	英文学者。 シェイクスピアの作品を多数翻訳、 劇の上演に使用される。 明治学院大学名誉教授、駒沢大学 教授。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2021』)	『筑摩世界文学大系16』(筑摩書 房、1975、「ウィンザーの陽気な女 房たち」三神勲・西川正身共訳、 p108~160) 『世界文学大系89』(筑摩書房、 1963、「靴屋の祭日」訳、p5~42) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p233)	2022/9/30	甲府
ミカミ ヒロシ 三神 弘	男	1945 	甲府市	甲府市	『踊り初め』 『猫町文庫第4集』	文学	小説家。 1982年、『三日芝居』ですばる文学 賞受賞。 日本文芸家協会会員。 (『踊り初め』) 猫町文庫編集同人。 (『猫町文庫第4集』)	『三日芝居』(集英社、1985) 『花供養』(集英社、1990) 『踊り初め』(三神弘、1989) 『どんぶり坂心中』(『猫町文庫第4 集』猫町文庫、2013、p110~145) ほか	『踊り初め』(三神弘、1989) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p356) 「公益社団法人日本文藝家協会」会 員名簿 http://www.bungeika.or.jp/pdf/2018 0801.pdf(2020.9.15確認) 『山梨日日新聞』(2010.10.1、13面 顔写真あり)	2022/9/30	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ミズカ カシヨウ 水上 華松	女	1923 2020	韮崎市	韮崎市	『甲州百人の顔』(株式会社豆州かわら版、1983)	芸術・スポーツ	本名は萬。池坊山梨県支部長、山梨県芸術祭華道部門代表、裏千家淡交会山梨県支部幹事を歴任。茶名は宗周(『甲州百人の顔』)		『甲州百人の顔』(株式会社豆州かわら版、1983、p130-131)『山梨日日新聞』(1993.10.31、24面、顔写真あり、1995.11.18、5面、顔写真あり、2020.7.19、20面)	2020/10/25	韮崎
ミズカ カスオ 水上 和夫	男	1933 1989	山梨県	山梨県	『スポーツ思いつくまま』	芸術・スポーツ	東京教育大学卒。 以降、山梨県教育委員会、山梨大学非常勤講師、山梨県国体局協議課長、韮崎市教育委員長などを歴任。 2002年、文部科学大臣体躯功労者表彰。 2003年山梨県教育功労者表彰。 (『スポーツ思いつくまま』)	『スポーツ思いつくまま』(近代文藝社、2012)	『スポーツ思いつくまま』(近代文藝社、2012、奥付)	2018/11/27	韮崎
ミズカ タツウ 水上 達三	男	1903 1989	清哲村	韮崎市	『山梨県人物・人材情報リスト2019』	社会科学 産業	実業家。1928年三井物産に入社。北京支店長代理などを歴任。戦後、三井物産解散に伴い第一物産創立。1959年三井物産大合同の立て役者として活躍。1961年社長、1969年会長、1971年より相談役。1972年日本貿易会会長、1985年名誉会長に就任。“ハヤブサの達”と呼ばれた敏腕の商社マン。藍綬褒章(1963年)、ペルー国グランクルス勲章(1968年)、紺綬褒章(1975年)、勲一等瑞宝章(1977年)(『山梨県人物人材情報リスト2019』)	『貿易立国論』(有斐閣、1988)『私の商社昭和史』(東洋経済新報社、1987)『私の履歴書経済人15』(共著、日本経済新聞社、1981)ほか	『静かなタフネス10の人生』(城山三郎、文芸春秋、1986)『平成・昭和に活躍する山梨県人』(かいじしんぶん、1998、p125)『山梨県人物人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p158)『貿易のバイオニア 水上達三』(韮崎ふるさと偉人資料館、2019)山梨日日新聞2018年2月14日	2020/10/28	韮崎
ミズカ ブンエン 水上 文淵	男	1861 1929	御代咲村	笛吹市	『山梨百科事典』	社会科学	教育家。 訓導や視学を歴任し、育英に尽力。1909年、一宮尋常小学校長に就任。郷土史においても多くの著書を発行。 (『山梨百科事典』)	『一宮村文教史』(少国民新聞社、1925) 『甲斐碑文集』(知新堂、1903)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p883) 『東八メモリーズこんなひとがいた』(東八代広域行政事務組合、2002、p247) 『一宮町誌』(一宮町、1967、p1135)	2012/8/20	一宮

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ミヅカミ ミユキ 水上 みゆき	女	1928 1985	高根町	北杜市	『野のまつり』 『草の雛』	文学	1978年「未知思派」賞受賞(『草の雛』)	『野のまつり』(不識書院、1981) 『草の雛』(不識書院、1986)		2018/11/18	双葉
ミスキ リョウ 水木 亮	男	1942 	北朝鮮	北朝鮮	『山梨県人物・人材情報リスト2021』	芸術・スポーツ 文学	劇作家、演出家、作家。 本名、望月弘美。 1999年、『祝祭』で第16回織田作之助賞受賞。 2006年、「お見合いツアー」で第49回農民文学賞受賞。 1983年～2015年、劇団コメディ・オブ・イェスタディ主宰。 2014年、「峠の念仏踊り」で第62回地上文学賞受賞。 甲府市在住。 (『山梨日日新聞』)	『山梨の民族芸能』(勉誠出版、2000) 『雪乃丞くんへの手紙』(山梨ふるさと文庫、2002) 『祝祭』(山梨日日新聞社、2006) 『美しい朝の国』(カモミール社、2001) 『古い焚く妖の記』(窓社、2012) 『なまよみの山河を生きた庶民の歌水木亮戯曲集上・下』(2015) 『人生で私の一番美しかった女(ひと)』(2019) 『エッセイを書こう心を伝える楽しみ』(2021)	『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p357～358、522) 『山梨の民族芸能』(勉誠出版、2000) 『山梨日日新聞』(2006.11.29、13面、2015.8.13、11面、2015.1.15、11面、2019.8.12、1面、顔写真あり) 劇団コメディ・オブ・イェスタディ http://www.ne.jp/asahi/comedy/ye/sterday/concept.html (2022.9.10確認)	2022/9/30	甲府
ミツイ コウシ 三井 甲之	男	1883 1953	松島村	甲斐市	『山梨県人物・人材情報リスト2015』 『山梨百科事典』	文学	歌人、評論家。 本名三井甲之助。 「アカネ」(のち「人生と表現」と改題)を創刊し短歌のほか短歌研究、小説、随筆などを発表。 1928年しきしまのみち会を結成し明治天皇御製拝唱の制度化を提唱。 (『山梨県人物・人材情報リスト2011』)(『山梨県人物・人材情報リスト2015』) 1958年山県神社(甲斐市篠原)境内に「ますらをのかなしきいのちつみかさねまもるやまとしまねを」の歌碑が建立された。 (『山梨百科事典』)	『三井甲之歌集』 (「三井甲之」歌碑建設・歌集刊行会、1958) 『三井甲之存稿』 (三井甲之遺稿刊行会、1969) 『しきしまのみち原論』 (原理日本社、1934) 『山県大式研究』 (原理日本社、1935) 『平和の大海へ注ぐ一滴の水』 (三井甲之遺稿刊行会、1969、県立図書館所蔵) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2011』 (日外アソシエーツ、2010、p421～422)『山梨県人物・人材情報リスト2015』(日外アソシエーツ2014、p346) 『山梨百科事典』 (山梨日日新聞社、1989、p888) 『三井甲之歌集』 (巻頭に写真あり) 『三井甲之存稿』 (巻頭に写真、附録p1～43に略年譜あり)	2016/11/4	敷島
ミナト シュウサク 湊 秋作	男	1953 	和歌山県	和歌山県	『田んぼの楽校』	社会科学 自然科学 医学	小学校教諭で24年間、田んぼを用いた独自の環境教育を展開。ヤマネの研究で理学博士号。キープ協会やまねミュージアム館長。日本環境教育学会運営委員。NHK教育番組制作委員。日本動物行動学会会員。 (『田んぼの楽校』)	『ヤマネはねぼすけ』(福音館書店、1992) 『森のスケーターヤマネ』(文研出版、2000) 『田んぼの学校—あそび編／まなび編』(農文協、2002) 『ヤマネの森を見あげてごらん』(佼成出版社、2005) 『田んぼの生きものおもしろ図鑑』(農文協、2006) ほか	『田んぼの楽校』(山と溪谷社、2004、奥付)	2012/11/4	萠崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ミヤザキ ヨシロ 宮崎 吉宏	男	1946 	明野村	北杜市	『甲斐駒開山』	歴史・地理 文学	山梨文芸協会会員 南嶺会会友 「季刊作家」同人 (『甲斐駒開山』)	『甲斐駒開山』(山梨日日新聞社出版部、2005) 『イマジネーション』(山梨文芸協会)	山梨日日新聞(1995.1.1、78面) 山梨日日新聞(1996.5.1、14面) 山梨日日新聞(2005.7.18、19面) 山梨日日新聞(2005.9.17、15面) 山梨日日新聞(2006.5.31、7面)	2018/11/18	双葉
ミヤザワ カズフミ 宮沢 和史	男	1966 	甲府市	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト2021』 「世田谷文学館秋の企画展 宮沢和史の世界」チラシ	芸術・スポーツ 文学	歌手、アーティスト。 THEBOOMのボーカリストとして平成元年にデビュー 作家としても多くのアーティストに曲を提供。 2005年、「島唄」で遠藤実歌謡音楽大賞受賞。他にも数々の賞を受賞している。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) 2006年、世田谷文学館で「宮沢和史の世界」開催。 (「宮沢和史の世界」チラシ) 2014年、THEBOOMは解散。 2015年からソロで活動していたが、2016年春から歌手活動を無期休業。 (「山梨日日新聞」) 2017年活動を再開。 (宮沢和史オフィシャルウェブ)	『夜ふかしの凡人』(宮沢和史著・写真、PARCO出版、2002) 『足跡のない道』(マガジンハウス、2008) 『旅の響き』(河出書房新社、2002) 『言の葉摘み』(新潮社、2006) 『未完詩』(河出書房新社、2001) 『宮沢和史前歌詞集』(河出書房新社、2001) 『島々百景』(ラティナー、2019) 『沖繩のことを聞かせてください』(双葉社、2022) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p486～p487) 『夜ふかしの凡人』(宮沢和史著・写真、PARCO出版、2002、奥付に年表あり) 「山梨日日新聞」(2016.1.4、24面、2018.7.1、41面、2022.5.6、9面、顔写真あり、2022.6.1、9面、顔写真あり、2022.7.2、1面、30面、顔写真あり) 「世田谷文学館秋の企画展宮沢和史の世界」チラシ(2006.9.30～11.26) 宮沢和史オフィシャルウェブ (https://www.miyazawa-kazufumi.jp/index.html (2022.9.10確認)) 宮沢和史Twitter https://twitter.com/miyazawa_info (2022.9.10確認)	2022/9/30	甲府
ミヤタ エイゾウ 宮下 英三	男	1950 	河口湖町	富士河口湖町	『元気に経営』	社会科学	千葉商科大学商学部卒業。 経営コンサルタント、税理士。 宮下会計事務所所長、宮下総合研究所代表取締役。 (『元気に経営』)	『目からウロコわかりやすい経営バイブル』(リム出版新社、2002) 『元気に経営』(文芸社、2000)	『目からウロコわかりやすい経営バイブル』(リム出版新社、2002) 『元気に経営』(文芸社、2000)	2012/8/16	富士河口湖
ミライ ナ みらい なな	女	1940 	東京都	東京都	『21世紀山梨の100人』	文学	翻訳家 (『21世紀山梨の100人』) 小学校英語教諭を歴任 山梨英和大学講師 (「山梨日日新聞」)	『葉っぱのフレディ』(童話屋、1998) 『モミの手紙』(童話屋、1999) 『みんななかよしりんらんろん』(童話屋、2002) 『あなたはだれ』(童話屋、1990) など翻訳	『21世紀山梨の100人』(山梨新報社、2002、p26) 「山梨日日新聞」(2002.1.1、39面) 「朝日新聞」(2000.9.6、26面) ほか	2012/8/21	塩山

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ムコウヤマ タテオ 向山 建生	男	1949 	韮崎市	韮崎市	山梨日日新聞	歴史・地理 社会科学	NPO法人「減災ネットやまなし」代表。 2009年、NPO法人「減災ネットやまなし」設立。 2018年、内閣府の防災功労者防災担当大臣表彰を受ける。 小林一三の功績を顕彰する「逸翁・耳庵」研究所代表も務める。 (「山梨日日新聞」)	『雅俗の偉人小林一三』(逸翁・耳庵研究所、2009～) 『小林一三物語』(山梨県立美術館、2010) 『小林一三(世界の伝記NEXT)』(集英社、2013) 『そなえハンドブック』(山梨放送、2016)	「山梨日日新聞」(2018.10.3、11面)	2022/11/30	韮崎
ムトウ ケイジ 武藤 敬司	男	1962 	富士吉田市	富士吉田市	「山梨日日新聞」	芸術・スポーツ	プロレスラー。全日本プロレスリング社長。別名ニグレート・ムタ。1984年、新日本プロレスに入門。1985年、海外遠征でフロリダ・ヘビー級選手権を獲得。1990年、IWGPタッグ王座を獲得。2001年、新日本に復帰。2002年、全日本プロレスに移籍。2008年、4度目のプロレスMVPを史上最高齢の45歳11カ月で受賞。得意技はシャイニング・ウィザード、四の字固め。 (『山梨県人物・人材情報リスト2013』)	『MUTO野心90%』(、アミューズブック、2002) 『武藤敬司プロレスの砦』(白夜書房、2003) 『全日本プロレス代表取締役社長武藤敬司』(扶桑社、2003) 『武藤敬司自叙伝』(経済界、2004) 『武藤敬司のBUMP人生』(扶桑社、2005)	『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p167～168、606～607) 「山梨日日新聞」(2004.2.15、5面)	2014/11/25	富士吉田
ムラオカ ハナコ 村岡 花子	女	1893 1968	甲府市	甲府市	『アンのゆりかご村岡花子の生涯』	文学	翻訳家、児童文学作家、日本ユネスコ協会連盟副会長。本名、安中はな。1914年、山梨英和女学校の英語教師となる。1916年、『爐邊』を処女出版。1919年、教文館で婦人子供向けの本を編集。1927年、マーク・トウェイン作『王子と乞食』を出版。1932年、JOAK(現NHK)で「子供の新聞」を担当。1939年、「アン・オブ・グリーンゲイブルズ」を贈られ、翻訳を行う。1952年、『アン・オブ・グリーン・ゲイブルズ』を「赤毛のアン」として出版。(『アンのゆりかご村岡花子の生涯』) (『山梨県人物・人材情報リスト2021』)	『曲り角のその先に村岡花子エッセイ集』(河出書房新社、2014) 『想像の翼にのって村岡花子エッセイ集』(河出書房新社、2014) 『腹心の友たちへ村岡花子エッセイ集』(河出書房新社、2014) 『たんぽぽの目村岡花子童話集』(河出書房新社、2014) 『伝記ヘレン・ケラー』(偕成社、2014) 『ナイチンゲール』(講談社、1981) 『赤毛のアン』(モンゴメリ、村岡花子訳、旺文社、1976) 『フランダースの犬』(ウィーダ、村岡花子訳、偕成社、1986) ほか	『アンのゆりかご村岡花子の生涯』(マガジンハウス2008、略歴p330～332) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、1992、p184～185) 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、2001、p162～164) 『山梨の作家1』(山梨ふるさと文庫、1994、p274～280) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p359～360) 『山梨の女性作家たち』(ふじざくら会、1997、p74～83) 『やまなし・女性の文学』(山梨県立文学館、1999、p21～25)	2022/9/30	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ムラカミ マサノ 村上 雅則	男	1944 -	七保村	大月市	『たった一人の大リーガー』 『山梨県人物・人材情報リスト 2011』	芸術・ス ポーツ	元プロ野球選手、日本人初の大 リーガー、現野球解説者。 別名マツシー村上。 法政二高から南海ホークス入団。 1964年米大リーグ「SFジャイアンツ」 へ留学生として派遣。傘下の「フレ スノ」に所属。11勝を上げ、大リーグ 昇格。 1966年南海、1975年阪神、1976年 日本ハム。 1982年現役引退。 大リーグ：5勝1敗9S、防御率3.43 プロ野球：103勝82敗30S、防御率 3.64 (『たった一人の大リーガー』、『山梨 県人物・人材情報リスト2011』)	『たった一人の大リーガー』(恒文 社、1985) 『ヒット・バイ・ピッチメジャーリーグTV 観戦ガイド』(ザ・マサダ、2001) 『大リーグのひみつ』(学研、2003)	『たった一人の大リーガー』 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 (日外アソシエーツ、2010、p432～ 434) 『大月人物伝』(日本ステンレス工業 株式会社、2008、p272～275、顔写 真あり)	2016/11/18	大月
ムラタ ハチロ ウベエ 村田 八郎兵衛 (ムラタ エイ) (村田 永孚)	男	1807 1899	塩山市	甲州市	『山梨百科事典』	産業	養蚕業・事業家 蚕種紙「青龍」 青梅街道の開削事業 向嶽寺に顕彰碑慈徳院に記念碑		『山梨百科事典』(山梨日日新聞 社、1989、p.918)『山梨百科事典』 (山梨日日新聞社、1972、p.777)山 梨日日新聞2015.05.2522面	2016/11/30	塩山
ムラマツ サダノ 村松 定孝	男	1918 2007	市川大門 町	市川三郷町	『定本泉鏡花研究』 『言葉の映像(かげ)ー鏡花 五十年』	文学	1988年「泉鏡花の基礎的研究」で関 西学院大学より文学博士号を受け る。 同年、評伝『あぢさゐ供養頌ーわが 泉鏡花ー』で大衆文学研究賞受 賞。 1989年上智大学名誉教授、2004年 春の叙勲、勲四等瑞宝章受章受 章。 泉鏡花研究の第一人者。 (『定本泉鏡花研究』、『言葉の映像 (かげ)ー鏡花五十年ー』)	『泉鏡花事典』(有精堂、1982) 『ことばと人生』(桜楓社、1978) 『あじさゐ供養頌ーわが泉鏡花ー』 (新潮社、1988) 『近代作家名文句辞典』(東京堂出 版、1990) 『言葉の映像(かげ)ー鏡花五十年』 (東京布井出版、1994) 『定本泉鏡花研究』(有精堂出版、 1996) 『教育と文芸のひずみ』(高文堂出 版、1998) ほか	『定本泉鏡花研究』 『言葉の映像(かげ)ー鏡花五十年』	2020/10/9	市川三郷
ムラマツ ショウ (ロシュウ) 村松 志孝 (蘆洲)	男	1874 1974	市川大門 町	市川三郷町	『山梨日日新聞』 『山梨の文学』	歴史・地 理	郷土史研究者。 山梨郷土研究会の理事長をつとめ たほか、峡南郷土研究会会長など を歴任。地域に郷土史の研究を広 め、貢献した。 郷土研究のかたわら、蘆洲と号し漢 詩をたしなんだ。	『市川大門町誌』(市川大門町誌刊 行委員会、1967) 『甲州叢話』(顕光閣、1936) 『蘆洲詩集』(村松定孝、1980)	『峡南の郷土』第12集(峡南郷土研 究会) 『山梨日日新聞』(1974.5.1214面) 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、 2001、P74～76) 『山梨漢詩人列伝』(山梨漢詩会、 2008、p137～171)	2020/10/9	市川三郷

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ムラツ シンゾウ 村松 甚蔵	男	1869 1945	甲府市	甲府市	『山梨百科事典』 『山梨県議会史』	社会科学	南塘文庫を開設。 日清製粉株式会社ほかの重役、県 会議員、衆議院議員を務める。 舞鶴城跡の払い下げ代金を県に寄 付。 (『山梨百科事典』)	『贈従三位山陽頼先生百年祭記』 (汲古館南塘文庫、1931、山梨県立 博物館所蔵)	『山梨県議会史』第3巻(山梨県議 会、1974、p1268、顔写真あり) 『甲府市史別編Ⅱ 美術工芸』(甲府 市役所、1988、p125~126) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p918~919)	2014/11/27	県立
モリスキ ヨサブロー 望月 與三郎	男	1872 1939	富河村	南部町	『富沢町誌』 『山梨緑の礎森を育てた 人々』	社会科学	郵便局長。 林業家。 文部大臣賞。 (『富沢町誌』下巻)		『郷土史にかがやく人々』(青少年 のための県民会議、1973、p49-72) 『山梨緑の礎森を育てた人々』(山梨 県みどりの基金、1991、p58) 『富沢町誌下巻』(富沢町役場、 2002、p110)	2012/8/14	南部
モチヅキ キョウジン 望月 丘人	男	1932 2021	中富町	身延町	『鑿方入魂』	芸術・ス ポーツ	1950年、印刻師望月旭洋に師事。 1955年、日本美術印章社設立。 山梨書道協会、山梨県芸術祭書 道展、全国印章技術大競技会など 各展入選する。 第一級印章彫刻技能士。 (『鑿方入魂』)	『鑿方入魂望月丘人作品集』(日本 美術印章社、1987) 『日本芸術の創跡』(P301掲載、植 村鷹千代他執筆、世界文芸社、 1995)	『鑿方入魂』(奥付)	2022/11/30	身延
モチヅキ ケイジ 望月 継治	男	1917 1994	中富町	身延町	『山梨県人物・人材情報リスト 2015』 『中富町50年の軌跡』	社会科学	1948年、伯父の経営する銀座精養 軒入社。 1949年独立、神田でパン店開店。 1952年、神田精養軒を設立。玄米 パンを販売。 1959年、シュタインメッツニッポンを 設立、代表。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2002』) 1983年、中富町初の特別町民。 高校移動セミナー、総合会館の綴 帳寄贈等町の発展に尽力。 (『中富町50年の軌跡』)	『いかに生きるべきか』(神田精養 軒、1967) 『土と子どもとパン屋のおやじ』(神 田精養軒、1975) 『パン屋のおやじは考える』(神田精 養軒、1977) 『食卓からの出発』(柏樹社、1979)	『山梨県人物・人材情報リスト2011』 (日外アソシエーツ、2011、p437) 『中富町50年の軌跡』(中富町、 2004、p90) 『パン屋のおやじは考える』 (望月継治、1977、奥付) 『毎日新聞』(1976.12.3、「くらしの “ひと”」) 『読売新聞』(1978.1.25、「汎日本 人」)	2022/11/30	身延

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
モチヅキ コウメイ 望月 幸明	男	1924 2020	中富町	身延町	『山梨県人物・人材情報リスト2002』	社会科学	1948年山梨県庁に入り、1966年教育長、1968年総務部長、1972年企画調整局長、1978年副知事を経て、1979年以来山梨県知事に3選。1986年にかいじ国体開催、また山梨リニア実験線の誘致も推進する。1991年引退。1992年参院選に連合から立候補するが敗れた。 (『山梨県人物・人材情報リスト2002』)	『遙かなる国々へ』(1984) 『蜀は遠からず』(1986) 『私と山梨教育』(日本教育新聞社、1990)	『山梨県人物・人材情報リスト』(日外アソシエーツ、2002、p357) 『中富町50年の軌跡』(中富町、2004、p80) 『私とふるさと』『日本経済新聞』(1991.11.4、夕刊) 『山梨日日新聞』(2020.8.10、1・24面) 自著及び山梨日日新聞等に顔写真有	2021/1/21	身延
モチヅキ コタロウ 望月 小太郎	男	1865 1927	身延村	身延町	『山梨百科事典』『山梨県人物・人材情報リスト2002』『郷土史にかがやく人々集合編Ⅱ』	社会科学	1883年、山梨県師範学校卒業。大里小学校教諭となるが、その後慶応義塾を卒業。 ロンドン大学に留学し「日英実業雑誌」を発刊する。 1896年、随行としてロシア皇帝戴冠式、英国女王即位五十年祭に参列。 1902年、衆議院議員、以降7回当選。立憲政友会、同志会、憲政会と転じた。 1906年、英文通信社設立。「日刊英文通信」などを発刊した。 漢詩をよくし、鶯溪と号す。身延町竹之坊境内に記念巨碑あり。 (『山梨百科事典』『山梨県人物・人材情報リスト2002』『郷土史にかがやく人々』)	『鶯溪演説集』(大日本社1898) 『独逸の現勢』(英文通信社、1913) 『軍備制限と日米関係』(日本評論社、1921) 『華府会議の真相』(慶文堂書店、1922) 『世界評論明治大帝と我国民性』(英文通信社、1922) 『世界に於ける明治天皇』上下(英文通信社、1927) 『鶯溪遺稿』(春光社、1942)	『身延町誌』(身延町誌編集委員会編、身延町役場、1970、p1181) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p929) 『山梨県史資料編14』(山梨県、1996、p533、745) 『郷土史にかがやく人々集合編Ⅱ』(青少年のための山梨県民会議、1980、p359～) 『山梨県人物・人材情報リスト2002』(日外アソシエーツ、2002、p357) 『国立国会図書館ホームページ』(http://www.ndl.go.jp/ 国立国会図書館所蔵「望月小太郎関係文書」260点、憲政資料に目録あり)(2009.3.23確認)	2014/12/12	身延
モチヅキ コタロウ 望月 小太郎	男	1911 2006	下山村	身延町	『富士を仰いで』『山梨県人物・人材情報リスト2011』	社会科学	1931年、大阪に望月建設創立。 1947年、大阪府議会議員に当選。豊中信用金庫理事、新大阪新聞社取締役、豊中地区更正保護協会会長、大阪音楽大学理事などを歴任。梅田コマ劇場の創立にも携わる。 1971年から26年間、大阪山梨県人会会長を勤めた。下山小・中学校、文化会館、体育館等の建設に貢献。 紺綬褒章を3度受章。 1972年、旧身延町名誉町民に推戴された。 (『富士を仰いで』『山梨県人物・人材情報リスト2011』)	『富士を仰いで』(望月小太郎、1976) 『故郷を想う』(大阪山梨県人会創立七十周年記念誌、大阪山梨県人会、1988、p168～)	『富士を仰いで』(p200、経歴) 『故郷を想う』(p8、168、206) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2011、p438) 『山梨日日新聞』(1996.3.31/14面、2006.1.14/31面、12.30/7面、2013.1.12/9面)	2014/12/12	身延

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
モチヅキ ジュンキチ 望月 純吉	男	1971 	甲府市	甲府市	「山梨日日新聞」	芸術・スポーツ	演出家。 劇団文学座所属。 水木亮の息子。 舞台「ダウト」「ザ・クライシス」を手がける。 (「山梨日日新聞」) 城西国際大学准教授 (城西国際大学ホームページ) やまなし大使 (山梨県ホームページ、やまなし大使リスト)		「文学座公式サイト」http://www.bungakuza.com(2020.9.17確認、作品プロフィールあり) 「山梨日日新聞」(2008.4.5、16面、(2011.11.12、22面) 城西国際大学ホームページ https://www.jiu.ac.jp/media/faculty/detail/id=1503 (2022.9.10確認) 山梨県ホームページ https://www.pref.yamanashi.jp/kankou-sk/yamanashi-ambassadors.html (2022.9.10確認) 劇団コメディ・オブ・イェスタディ http://www.ne.jp/asahi/comedy/yesterday/itemlist.html (2022.9.14確認)	2022/9/30	甲府
モチヅキ シュンコウ 望月 春江	男	1893 1979	住吉村	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト2021』 『山梨百科事典』 『山梨「人物」博物館』	芸術・スポーツ	日本画家。 日展参与、東京純心女子短期大学教授。 本名、望月尚。 結城素明に師事。文部省文部大臣官房図書課嘱託となり、教科書の挿絵を担当。 『山梨県人物・人材情報リスト2021』 1920年、東京女子高等師範学校の講師となる。 1921年、第3回帝展に入選。 1928年、第9回帝展特選。 1929年、第10回帝展特選。 1938年、日本画院を結成。 1958年、日本芸術院賞受賞。 1971年、勲四等旭日賞受賞。 1975年、山梨県特別文化功労者表彰。 1978年、紺綬褒章受賞。 墓所は長禪寺。 (『郷土史にかがやく人々第20集』)	『花をみつめて』(秋山書店、1979)	『山梨県人物・人材情報リスト2021』 (日外アソシエーツ、2020、p409) 『郷土史にかがやく人々第20集』 (青少年のための山梨県民会議、1995、p36~72) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、1992、p185) 『望月春江とその時代』(山梨県立美術館、2013) 『望月春江展』(山梨県立美術館、1979)	2022/9/30	甲府
モチヅキ 効ヨシ 望月 たか美	男	1929 	南部町	南部町	『信玄堤』	文学	川柳「青空」同人を経て川柳「一の枝」代表。 山梨県川柳協会副会長。 甲斐市文化協会川柳部、川柳双葉会、山梨ライトハウス川柳クラブ、青い鳥老人ホーム川柳クラブ所属 (『信玄堤』)	『信玄堤』(望月たか美、2012)	『信玄堤』(望月たか美、2012、奥付)	2014/11/27	竜王

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
モチヅキ トキオ 望月 勲雄	男	1930 	身延町	身延町	『墨絵が語るふるさと』 『久遠の里』 『藝術公論』	芸術・ス ポーツ	1991年、郵便局長退職後、墨絵を始める。 1996年から続けて日書画展特選。 総合水墨画展、台北国際美術展、 全国水墨画展などで入賞多数。 1997年からは山梨化学学園講師、 2001年、国際書画連盟評議員。 1997年から個展を開く。2003年には 山梨県版寄附金付年賀葉書の原画 を担当した。 墨酔会主催、号＝勲夫 (『墨絵が語るふるさと』『久遠の里』 『藝術公論』)	『墨絵が語るふるさと』(山梨日日新聞社、2005) 『花とふるさと病床絵日記』(望月勲雄、2015) 『久遠の里』(文芸社、2017)	『墨絵が語るふるさと』(望月勲雄水墨画集、山梨日日新聞社、2005、p102略歴) 『久遠の里』(望月時雄水墨画集、2017、奥付) 『藝術公論』(『藝術公論』2002年5月号、p85) 『季刊水墨画』(日貿出版社、2003年4月第104号、p70～) 『artmagazine』(アイエフティー、2004年1月号、p73、“大家の肖像”) 『朝日新聞』(2004.8.13、山梨版「故郷の風景、絵に託す」) 『山梨日日新聞』 (2006.12.930面)(2007.7.3127面) (2018.8.128面)他多数	2022/11/30	身延
モチヅキ ユリコ 望月 百合子	女	1900 2001	甲府市	甲府市	『開館十周年記念展Iやまなし・女性の文学』 『山梨県人物・人材情報リスト2021』	文学	文芸評論家、翻訳家、歌人。 1920年、ソルボンヌ大学へ留学。 1928年に「女人藝術」へ連載したマルグリット著「みちづれ」の翻訳は昭和初年代の名翻訳といわれる。 (『開館十周年記念展Iやまなし・女性の文学』) 1999年、山梨県の躰沢町教育文化会館内に望月百合子記念館が開設された。 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』)	『幻のくに』(みちの会、1964) 『タイース』(新潮社、1924) 『限りない自由を生きて望月百合子集』(東京ドメス出版、1988)	『開館十周年記念展Iやまなし・女性の文学』(山梨県立文学館、1999、p12～13) 『断髪のモダンガール』(森まゆみ著、文藝春秋、2008、p8～15) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p361～362、P442～443) 『二〇世紀を自由に生きて写真集望月百合子一〇〇歳のあゆみ』(東京ドメス出版、2000) 『望月百合子記念館 https://www.town.fujikawa.yamanashi.jp/kanko/gallery/kinenkan.html (2022.9.13確認)	2022/9/30	甲府
モモセ コウキチ 百瀬 康吉	男	1865 1936	韮崎町	韮崎市	『山梨百科事典』 『山梨大学水晶図録』	産業 自然科学・医学	韮崎の素封家に生まれ、甲府柳町に薬局を開いた。 1893年ごろから甲州に産する水晶、鉱物の資料収集を行う。 1919年、30年にわたって収集した貴重な標本を山梨県師範学校へ寄贈した。 (『山梨百科事典』) 薬種業の傍ら、方々から鉱物の鑑定も依頼される。 1907年、百瀬国産部品部で水晶製品の販売。 1911年、双晶堂を開業。 1934年、水晶峠産水晶並びに倉沢鉱山産ライン鉱付き水晶を寄贈。 (『山梨大学水晶図録』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p934) 『山梨大学水晶図録』(角田謙朗、山梨大学、2011)	2018/11/27	韮崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
モリカワ セイイチ 森川 政一	男	1844 1877	桑戸村	笛吹市	『春日居町誌』	歴史・地理	旧名、茂手木歳助(モテキサイスケ)。西南戦争時の薩摩軍兵士。(『春日居町誌』)		『春日居町誌』(春日居町、1988、p1379~1384)	2022/10/14	春日居
モリシマ イズミ 森島 いずみ	女	不詳	秋田県	秋田県	『ずっと見つめていた』(偕成社、2020)	文学	秋田県に生まれる。通訳業のかたわら児童文学を書きはじめ、『パンプキン・ロード』(学研教育出版)で第20回小川未明文学賞大賞、『あの日の花火は消えない』(偕成社)で第63回産経児童出版文化賞フジテレビ賞受賞。原発事故のあった福島県から山梨県に移住し、現在に至る。(『ずっと見つめていた』偕成社、2020)	『パンプキン・ロード』(学研教育出版、2013) 『あの花火は消えない』(偕成社、2015) 『まっすぐな地平線』(偕成社、2017) 『ずっと見つめていた』(偕成社、2020) 『そして、物語は決着する』(偕成社、2020)	山梨日日新聞 (2017.3.8、18面、顔写真あり、 2017.3.11、15面、顔写真あり、 2017.10.4、11面、2020.3.31、15面、 顔写真あり)	2020/10/28	櫛形
モリタ シンスケ 森田 新介	男	1846 1919	南部町	南部町	『南部町誌』	産業	峡南地区に製糸工場甲南社設立。1892年、アメリカコロンブスの世界博にて、生糸を出品。(『南部地区における明治の群像』)		『南部町誌』(南部町、1964、p869) 『南部地区における明治の群像』 (渡辺修孝著渡辺修孝、2000、p10)	2012/8/14	南部
モリヤ キウオ 守屋 喜久夫	男	1925 	韮崎市	韮崎市	『山梨県人物・人材情報リスト2000』	自然科学・医学	日本大学在学中は長距離選手として1500メートルで2回日本記録を樹立。日本大学講師、東京農業大学専任講師、日本大学理工学部教授。千葉県地震対策会議委員。1979年ユーゴスラビア政府感謝状、1982年イタリア政府感謝状(『山梨県人物・人材情報リスト2000』)	『「三原山大噴火」の真相―日本の火山・地震対策はこれでよいのか』(サンケイ出版、1987) 『地震災害と地盤・基礎』(鹿島出版会、1989) 『古地図が教える地震危険地帯』(日刊工業新聞社、1995)ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2000』 (日外アソシエーツ、2000、p384-385)	2022/11/30	韮崎
モロシミ ヒロシ 諸角 弘	男	1925 	上野原町	上野原市	「山梨日日新聞」	文学	中学校教諭(「山梨日日新聞」)	『うろろう舟』(2008)	「山梨日日新聞」(2008.11.13、19面 顔写真あり)	2009/1/16	上野原

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
モロホシ ヒロ 諸星 廣夫	男	1931 	甲府市	甲府市	『甲府空襲の実相「諸星廣夫 体験記」』	技術	1975年9月運輸省航空大学校本科 二期卒業、同年10月日本航空株式 会社入社。1989年8月ジャルフライ トアカデミー社長。1990年、黄綬褒賞 を授賞。1991年3月日本航空株式 会社定年退職。1994年7月ジャルフ ライトアカデミー退社。1995年9月航 空評論家。	『甲府空襲の実相「諸星廣夫体験 記」』(山梨平和ミュージアム、2007) 『甲府盆地は火の海だった』(山梨 ふるさと文庫、2018) ほか	『甲府空襲の実相「諸星廣夫体験 記」』(山梨平和ミュージアム、2007、 P15) 「山梨日日新聞」(1996.3.18、8面顔 写真あり)	2022.9.30	甲府